

# Magatama News Letter

2024, May, Vol.01

## 能登地震の支援に活動継続！

発災後の活動支援として、日本栄養士会の活動拠点である金沢市内の1.5次避難所にて、1月下旬、私ども所有の災害キッチンカーを現地に配備して、要支援者を主とした栄養食事の提供にサポート支援させていただいておりました。

時間の経過で支援体制の変化に伴い、3月末時、キッチンカーの活動拠点を奥能登の珠洲市に移動させることに。

現地からの情報を元に、支援の在り方を見直すとともに、大阪からの遠隔支援として、栄養食事の事前調理の態勢を急速整えることになりました。



## 「栄養と衛生に配慮した食事」

災害時に栄養と衛生に配慮した食事サポートすることが当初からの活動主体として、発災前より打合せしてきたこともあり、管理栄養士の扇田さんの多大なる協力の下で5月度は多くの食事を奥能登に届けることができました。



## 災害支援活動の想い

### [今後の活動方針]

発災から四ヶ月GWを経過し、微力ではありますが「心をつなぐ」一助になればと、暫くの間、遠隔調理の支援活動をさせていただく所存です。

### [活動内容]

衛生に配慮した環境下で事前調理した栄養食を急速に超低温で保存して、一定期間毎に奥能登珠洲市へ届けます。

復興への想い、少しでも寄り添える活動となりましたら幸いです。

## 動物愛護活動

能登地震を受けて



(写真は ARK 篠山施設にて)

能登地震で珠洲まで出向いてくださった ARK 一時預かりのワンちゃんたち、篠山の施設にて会うことができました。

この仔たちにも被災で生活が一変し、家族と離れてストレスを感じているのだろうと、気になっていました。

ARK スタッフさんのケアには敬服いたします。ご家族の方もよく会いに来られてるとのことで...良かったです。

認定 NPO 法人アニマルレフュージ関西  
〒563-0131 大阪府豊能郡能勢町野間大原 595  
TEL 072-737-0712  
<https://arkbark.net/>

## 動物保護活動への支援

前身である現代表理事田中慶彦が経営していたカフェまがたまの時代に、当時の殺処分の多さに落胆したことがきっかけで能勢にある ARK を訪れ、以降 30 年弱の間、里親会などを通して、人と犬との共生を通した周知活動を継続しています。



写真は ARK 庭師高田さん

犬の保護活動支援を通して、非営利の施設管理や能勢の自然摂理を多く学んでおります。特に興味深いことに、「大地の再生」の考察は昨今の自然災害への向き合い方にも非常に勉強になります。

今後も多く大切なことを次世代に残すべく、教育に絡めた機会となることを検討しています。